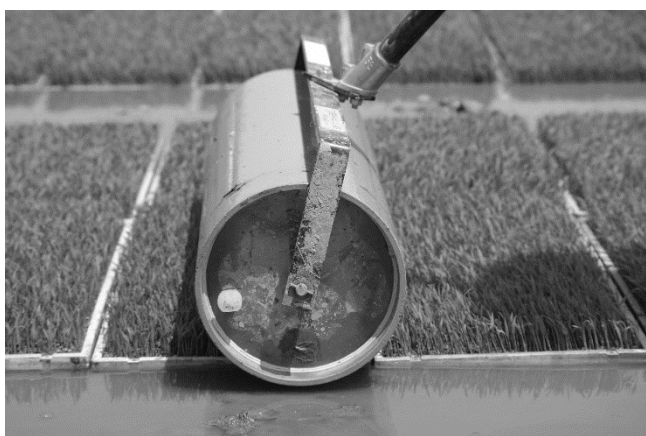


田植えが始まっています！

子ども達に聞いてみました。「スイカは何からできるの?」「スイカの種!」「じゃあ、かぼちゃは?」「かぼちゃの種!」「では、お米は何からできるの?」そんな質問をしてみると、子ども達はザワザワします。

「お米」は「米」からできるのです。お米の種(?)を「粃(もみ)」と言います。お米の種まきの事は「粃まき」と言います。5月は粃まきと育苗(稲の苗を育てる事)。そして、6月はいよいよ田植えです。

服部農園といえば「元気くん」作業。苗づくりには欠かせません。今年も1万枚の全ての苗に「元気くん」作業をしています。さあ6月。さあ田植えです！



「元気くん」作業とは、苗を元気にする作業です。

苗の成長に合わせて、負荷(重さ)を変え、ローラーで苗を倒します。(麦踏みのようなものです)

倒された苗は「これじゃイケない!もっと強くならなきゃ!」と自力で起き上がるのです。田植えまでに、1枚の苗に負荷を変えて、計6回「元気くん」作業を行います。元気くんをすることで、稲本来の治癒力を引き出して強い苗が育ち、その後の減農薬や無農薬へとつながっています。今年のお米もお楽しみに(*^-^*)

初の女子旅

服部農園では、農園で働くメンバーだけでなく、家族ぐるみで仲良しです。「婦人会(ふじんきゃ〜)」なるものまであるのです！

女将さんの夢だった“女子旅”行ってきました！

一昨年、社員旅行でお世話になった旅館、長野県・渋温泉の春蘭の宿「さかえや」で一泊。1歳になったばかりのあおちゃん(林くんのお嬢ちゃん)も連れての大冒険でした。旅館では「信州はがき人の集い」が開催されており、みんなで参加をしました。ちょうど母の日だった事もあり、奥さま達はお母さんやお義母さんへ、子どもたちはそれぞれお父さんへハガキを書いていました。

一緒に旅をして…。

今まで何年も「忙しい時期だから」「こういう仕事だから」と、特に5月6月は休みもなく突っ走ってきました。奥さんたちと旅をして、小さな子どもを連れて食事をしたり、トイレに行ったりするのは思っていた以上に大変で、今更ながら服部農園があるのは、彼女達(奥さん達)の大きな支えがあってこそなんだと気づいた旅でした。洗い物をしなくていい。布団が敷いてある。髪をゆっくり乾かせた。たったそれだけの事が、すご〜くウレシイ旅でした。





メ〜テレ「デルサタ」の取材が来ました！

なんと、なんと！ 服部農園がテレビ出演しちゃいます！！

6月3日 朝6時～ 名古屋テレビ「デルサタ」(チャンネルは6番)

よく晴れて撮影日和だった、5月21日。六条大麦の収穫が始まったという事で、ポッカ&サッポロのにつぼん麦茶のイメージガール、鈴木ちなみちゃん(岐阜県出身)が番組の取材も兼ねて農園に来てくれました。

ちなみちゃん、自らコンバインに乗って収穫体験！農園の奥さんや子どもたちまで「見たい！見たい」と大集合しました♪ せっかくなので、記念写真をパチリ。麦の圃場でいい写真が撮れました(*^-^*)

(大人の事情で撮影風景を掲載できないのが残念です…)

こんにちは赤ちゃん

ジャコモがパパになりました！

4月25日、ジャコモが
パパになりました。

「アンナちゃん」
かわいらしい女の子が
産まれました。

「鼻が似てたらどうし
よう…」(←ジャコモ)

今のところは
大丈夫、(^。^)/
ガンバレ！ジャコモパパ



お世話になりました

3年間、農園メンバーとして頑張ってくれた
岡ちゃんが独立しました。



服部農園のような農業
法人を作りたいと夢を
抱いて、実家のある豊
田市で4月から農業を
始めました。

ガンバレ！岡ちゃん！
可愛がって頂き、
ありがとう

ございました。

【私たちのミッション】 10年後、100年後、この町にこの景色を残したい

私たちは地域に根を張り、若い人材の育成と、次世代へつなぐ循環型農業に取り組んでいます。

服部農園有限会社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 3-158

TEL:0587-81-6688 /FAX:0587-94-1020/Facebook 毎日更新中/http://www.hattorinouen.com

このお便りは服部農園でお米を買って下さっている方、農地のご地主様を含め、ご縁のある方に発行しております。

「次回からは不要だよ」という方はお手数ですがメールかFAXにてお名前をご記入の上、ご一報願います